

平成 16 年度～平成 18 年度科学研究費補助金
(基盤研究(C)) 研究成果報告書

課題番号：16530581

表現活動としての 3D アニメーション制作の教材化

平成 19 年 3 月

研究代表者 上山 浩
(三重大学教育学部助教授)

はしがき

本研究は、3Dアニメーションの制作を美術教育における表現教材として位置づけることを目的とした一連の基礎研究である。

3Dアニメーション制作をはじめとした3DCGの教材化は、'80年代より既に20年以上にわたって期待されているものの、実際には進んでいない。小・中学校の教育現場におけるこの種の教材の実例は僅かしか報告されておらず、具体的な指導法の研究もほとんど見ることはできない。これは、2DCG教材の普及と対比をなしており、停滞状況だと言える。その一方で、3DCG制作に対する教育的な意義や効果を期待する声は絶えず聞かれ、現代社会におけるそれへの期待はむしろ高まりつつある。

本報告者は、本研究に至るまでに、3Dアニメーション制作について、その教育的効果を指摘し、教材化が進まない理由についての幾つかの推論を試みた。さらには教材化の方向として具体例を提示し、実際に一般的な中学生にも3DCGを用いた豊かな表現が可能で、多くの教育効果が望めることを実証した。

本研究は、これまでの研究を進めて、小・中学校での美術教育の授業において実効性が高くかつ運用が容易であるような3Dアニメーション制作教材を、将来の学校教育のあり方を視野に入れながら、開発すべく論考を進めるものである。

また、その過程において、美術教育における表現の指導を巡る問題を掘り下げ、さらには、美術教育の教材観、指導観、教科の理念等、その基本的なあり方についての抜本的な再考を進めることも、本論が目的とするところである。

本報告は、下記研究発表覧に示した、三件の学会誌投稿論文を転載したものである。

研究組織

研究代表者：上山 浩（三重大学教育学部助教授）

交付決定額（配分額）

（金額単位：千円）

	直接経費	間接経費	合計
平成16年度	900	0	900
平成17年度	2,300	0	2,300
平成18年度	400	0	400
総計	3,600	0	3,600

研究発表

(1) 学会誌等（発表者名，テーマ名，学会誌名，巻号，年月日）

上山 浩，表現活動としての3Dアニメーション制作の教材化Ⅰ—3DCG制作と美術教育における表現技術の指導の問題—
美術教育学（美術科教育学会誌），第26号，2005年3月31日（本報告書 pp.1-8）

上山 浩，表現活動としての3Dアニメーション制作の教材化Ⅱ—美術教育としての3DCG制作指導成立の与件—
美術教育学（美術科教育学会誌），第27号，2006年3月31日（本報告書 pp.9-20）

上山 浩，表現活動としての3Dアニメーション制作の教材化Ⅲ—教育活動としての3DCG制作指導の成立—
美術教育学（美術科教育学会誌），第28号，2007年3月31日（本報告書 pp.21-37）

(2) 口頭発表（発表者名，テーマ名，学会等名，年月日）

上山 浩，アニメーション制作教材における指導法の問題

第27回美術科教育学会，2005年3月27日

上山 浩，3Dアニメーション制作の理解と指導法—3DCG表現教材化の基礎研究—

第28回美術科教育学会，2006年3月26日

上山 浩，3Dアニメーション制作指導の展開—PBLチュートリアルとピア・サポート導入の可能性—

第29回美術科教育学会，2007年3月26日